

「メセナ アワード 2009」受賞活動の紹介

【メセナ大賞部門】

- メセナ大賞 **第一生命保険(相)**
第一生命ホールを拠点とした NPO トリトン・アーツ・ネットワークの音楽活動への支援
- 「文舞」両道賞 **(株)シベール**
シベールアリーナ & 遅筆堂文庫山形館の運営
- 地域ネットワーク賞 **多摩川アートラインプロジェクト実行委員会**
「多摩川アートライン」の取り組み
- 千客万来賞 **天神橋筋商店連合会**
商店街文化と芸能文化で街再生
- 歌劇な社長賞 **(株)トナカイ**
オペラサロントナカイの運営を通じた、サロンオペラの普及と若手歌手支援
- ベスト・コラボレーション賞 **明治安田生命保険(相)**
「エイブルアート・オンステージ」の実施

【文化庁長官賞部門】

- 文化庁長官賞 **京阪電気鉄道(株)**
中之島線なにわ橋駅「アートエリア B1」における社学・地域連携文化活動

【本件に関するお問い合わせ先】

社団法人企業メセナ協議会 広報担当: 内田 / メセナ アワード担当: 荻原・戸沢
TEL: 03-3213-3397 FAX: 03-3215-6222 URL: <http://www.mecenat.or.jp>
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 1 階

【メセナ大賞】

第一生命保険(相)

第一生命ホールを拠点とした
NPO トリトン・アーツ・ネットワーク
の音楽活動への支援

企業プロフィール

本社所在地: 東京都千代田区

業種: 保険

設立年: 1902 年

基金総額: 4,200 億円

従業員数: 5 万 3,072 人

www.dai-ichi-life.co.jp/company/

www.triton-arts.net/ (TAN)

戦後の東京で、舞台芸術の拠点となった旧・第一生命ホールは、1989 年、日比谷の本社改築のため閉鎖となる。その後、2001 年、晴海のトリトンスクエアに 767 席の音楽専用ホールとして、新たな「第一生命ホール」が再興された。

ホール運営については、同社の社会貢献活動の取組方針に基づき、約 50 名のワーキンググループで検討された。結果、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク (TAN) を組織して、コンサート企画や地域での音楽活動を展開していくという、民間ホールとして初の試みがスタートした。

TAN は、そのミッションにクラシック音楽を「広める・創る・育てる」を掲げ、ホール事業、コミュニティ事業、サポーター事業、評価事業の 4 つに取り組む。ホールでは、「育児支援コンサート」や「はじめてのいっぽコンサート」など、ひと工夫あるユニークな企画を年 30 公演ほど制作。それとともに、近隣の学校、自治体とも連携をとりながら、ホールに足を運びづらい人たちに音楽を届ける「アウトリーチ活動」をこれまでに 300 回以上、実施してきた。

こうした TAN の活動を支えているのは、第一生命の職員 450 名を含む個人会員 750 名と、同社を筆頭とする 33 の法人会員や企業からの協賛、さらに約 70 名の積極的な市民サポーターや社内ボランティアである。

NPO という形態が職員や市民の積極的な関与を促し、地域に根ざした音楽活動を着実に拡げている。

【「文舞」両道賞】
(株)シベール
シベールアリーナ &
遅筆堂文庫山形館の運営

企業プロフィール
本社所在地: 山形県山形市
業種: 食料品
設立年: 1970 年
資本金: 4 億 8,835 万 5,000 円
従業員数: 234 人
www.cybele.co.jp/chihitsudo/

山形初の洋菓子店として 1966 年に創業したシベールは、主力商品ラスクの工場に隣接して、2008 年 9 月、シベールアリーナと遅筆堂文庫山形館を開設。同郷出身の作家・井上ひさし氏らが提案した劇場建設構想に社長の熊谷真一氏が賛同したのがきっかけで、同社敷地内で実現したものである。

シベールアリーナは、劇場と体育館の機能をあわせ持つ施設。設計段階から舞台監督や照明家を交えて検討を重ね、客席数 522 席の本格的な演劇空間が誕生した。劇団こまつ座による公演の他、講演会やコンサート、映画、落語や講談など多彩な企画を手がけている。アリーナ仕様に転換した際には 6 面分の卓球台が設けられ、県内の小学生が集う「シベール杯」も主催している。

一方の遅筆堂文庫は、井上氏が地元・川西町に長年にわたり蔵書を寄贈してきたもので、約 22 万冊もの中から、「母と子のための本」3 万冊を選出して「山形館」に巡回させる方法で運営されている。展示スペースも併設し、文学・演劇関連の企画展も催して好評を得ている。

2009 年 2 月、両施設の運営を担う財団法人「弦」地域文化支援財団を設立。「シベールアリーナ友の会」には約 1500 名の市民が参加するなど、地域文化の受発信の拠点として地域密着の施設運営を図っている。

【地域ネットワーク賞】
多摩川アートラインプロジェクト
実行委員会
「多摩川アートライン」の取り組み

団体プロフィール
所在地: 東京都大田区
組織形態: 実行委員会
設立年: 2006 年
会員数: 幹事 20 人、ボランティア 200 人
<http://tamagawa-art-line.jp/>

「多摩川アートライン」は、東京・大田区の大田川下流域エリアの鉄道、駅、街を舞台とした現代アートによるまちづくりの活動。2007 年から 3 年間で第 1 期とし、さまざまなプログラムを展開する。

実行委員会の運営母体である NPO 法人大田まちづくり芸術支援協会 (asca) は、「アートと企業のまちづくり」を掲げる地域メセナ組織。1992 年の設立以来、企業 29 社と個人会員 150 名とともにコンサートなどのイベントを多数開催してきた。本プロジェクトは、醍醐建設、東急電鉄、金羊社ら企業と新田神社、大田観光協会、東京商工会議所大田支部を共催に、大学や専門学校、大田区商店街連合会などとの連携のもと運営されている。

アートディレクターの清水敏男氏を中心に、秋に「アートラインウィーク」と称する作品展を実施。第 1 回は、国内外で活躍する大田区ゆかりの 16 組のアーティストによる 22 作品が、沿線 7 駅や地元の公園、神社、商店街に置かれ、うち 15 作品が常設された。翌年は、ソウルや北京からアーティストが参加。産業の街・大田らしく、町工場でアーティストと職人が協働して作品を制作した。さらには、シンポジウムやタウンミーティングを通じて、地元企業と市民、行政を交えたネットワークづくりを進めている。

【千客万来賞】
天神橋筋商店連合会
商店街文化と芸能文化で街再生

団体プロフィール
所在地: 大阪府大阪市
組織形態: 商店連合会
設立年: 1994 年
会員数: 350 店舗
<http://tenjin123.com/>

大阪・天神橋筋は、約 2.6 km にわたり 1000 軒もの店が立ち並び「日本で一番長い商店街」。大阪天満宮の参拝道であり老舗が軒を連ねるが、より魅力ある街にしようと、さまざまなイベント企画や独自の商品開発にも取り組んできた。

天神橋筋商店連合会と上方落語協会(会長・桂三枝師匠)が連携し、大阪天満宮に定席の小屋を建てるべく、2005 年から募金活動を展開。かつて天満宮周辺には 8 軒の小屋があり、芸能と商いのまちとして栄えた、それを復活させようとの構想である。一口 1 万円の個人寄付から募り、企業、団体にも働きかけて、総額 2 億 4,000 万円、緞帳や建築金物など 3,000 万円相当の寄贈を受けて、2006 年 9 月「天満天神繁昌亭」が完成する。

開設以来、大阪の新名所として繁昌亭は連日満員、天神橋筋も 40% の集客増となった。商店連合会では新たに NPO 法人上方落語支援の会を設立し、小屋の管理にあたっている。昼席を中心に多彩な顔ぶれが登場し、夜席は噺家による意欲的なプログラムが組まれる。また朝席は NPO の企画で、小中学生のための落語講座を行うなど、両者の連携で順調な運営を続けており、開設一周年の経済効果は 116 億円とも試算された。

「街あきんど」の心意気が多くの人を動かし、市民文化のまち・大阪の健在ぶりを世に示したのである。

【歌劇な社長賞】

(株)トナカイ

オペラサロントナカイの運営を通じた、サロンオペラの普及と若手歌手支援

企業プロフィール

本社所在地:東京都千代田区

業種:不動産

設立年:1967年

資本金:1億円

従業員数:17人

www.opera.co.jp/

東京・神田、岩本町のビジネス街にある「オペラサロントナカイ」は、オペラに造詣の深い早川正一氏が所有する、コンサート形式のオペラを鑑賞できるレストラン。こだわりの音響設計と舞台装置を施した127席の音楽ホールがある。

平日の晩に開催されるコンサートには、オーディションに通過し、登録された約120名の実力ある若手歌手が出演する。日々メンバーを入れ替えながら、オペラ歌手3名と伴奏ピアニストが、約2時間、オペラアリア、デュエット、アンサンブルを演奏。これまでの通算公演は4,600回を超えた。

2002年には、NPO法人サロンオペラトナカイを設立。より多くの人にオペラを経験してもらい、その魅力を知ってもらいたい。特に、一番伸び盛りの若手オペラ歌手の発表の場を増やしたいとの思いから、オペラ鑑賞、演奏・研究を通じてオペラ公演の普及をはかる活動をスタートさせた。

隔月で企画される「サロンオペラ」は、若手演奏家にとって、作品研究の機会提供となり、自らのレパートリーを広げるチャンスとなる。また、中高生や大人のための「オペラ入門」を実施するほか、「海外研修生歓送オペラガラ」を企画して留学費の寄付を募ったり、メトロポリタン歌劇場はじめ本場のオペラ公演へ若手歌手を招待するなど、物心両面での支援を惜しまない。長年にわたる地道なオペラ振興への功績を称えて、このたびの受賞となった。

【ベスト・コラボレーション賞】

明治安田生命保険(相)

「エイブルアート・オンステージ」の実施

企業プロフィール

本店所在地:東京都千代田区

業種:保険

創業年:1881年

基金総額:4,100億万円

従業員数:4万485人

www.meijiyasuda.co.jp/profile/society/welfare/index.html

2004年の合併による新会社発足を機にスタート。障がいのある人たちの芸術活動の幅を広げ、舞台芸術のアーティストとのコラボレーションによるクオリティの高い活動を支援する。

中核となるのは「活動支援プログラム」。障がいのある人とアーティストによる新たな舞台芸術の取り組みを公募し、毎年、6~8件に上限150万円の支援金を提供。福祉団体やアートNPOが企画し、数ヶ月かけて地元での公演を実現、その間のアドバイスなど支援先への対応は手厚い。

特徴的なのは、「障がい」の範囲を身体障がいや知的障がいに限らず、心の病や加齢までも含めた「生きづらさ」と捉えていることだ。さまざまな障がいのある人とダンサーによるパフォーマンスや、60歳以上の女性だけの演劇、引きこもりの中高年男性のためのワークショップなど多彩な活動を支援してきた。

その成果を東京で一堂に会して見せるのが、「コラボシアターフェスティバル」。各地で発表した作品を発展させて上演したり、シンポジウムや展示などとあわせて、作品づくりのおもしろさや課題を伝える。

3つ目は「飛び石プロジェクト」と称する国際交流プログラム。英国から障がい者のプロ劇団に携わる2名の演出家を招き、2年にわたり各地でワークショップを重ね、障がいのある人や俳優らが出演する作品をつくりあげ、好評を博した。

【文化庁長官賞】

京阪電気鉄道(株)

中之島線なにわ橋駅

「アートエリアB1」における

社会学・地域連携文化活動

企業プロフィール

本社所在地:大阪府大阪市

業種:陸運

設立年:1949年(創立1906年)

資本金:514億6,641万円

職員数:2,743人

<http://artarea-b1.jp/>

大阪・中之島地区に2008年10月に開通した中之島線は、中之島駅から天満橋駅にいたる3.0kmの地下路線。京阪電気鉄道では、「なにわ橋駅」建設段階の2006年より、都市空間で駅がもつ可能性を模索する社会学連携プロジェクト「中之島コミュニケーションカフェ」を実施。駅建設現場でのトークやファッションショー、ダンスパフォーマンスを実験的に行い、話題を集めた。

路線の開業以降は、なにわ橋駅の地下1階コンコースに常設の活動拠点「アートエリアB1」を開設。大阪大学、NPOダンスボックス等との協働により、駅でのアートプロジェクトが本格始動する。

定例のプログラムとして「カフェトーク」を実施。コーヒー片手に自由な議論を交わす参加型の対話プログラムで、大阪大学の講師や学生らが主催し、ときに専門家を招いて、公衆衛生・虫歯・哲学・書評など幅広い分野にわたるテーマを取り上げる。週2~3回の頻度で、開設から一年足らずで100回以上を数え、ビジネスマンやOL、学生、高齢者など幅広い客層を集める。

また、現代美術のアーティストを紹介する作品展を企画したり、「アートエリアB1」の成り立ちと目的について解説する情報展示も行っている。

「停車場としての駅」から「コミュニケーション空間としての駅」へ。大学の知、アートの力、地域の活力を結集して、なにわ橋駅が中之島エリアの「文化・芸術・知の創造と交流の場」となることを目指し、これからもさまざまなプログラムを展開していく方針である。